



48

はま 錠の浜

滋賀県安土町常楽寺

安土町は、滋賀県のほぼ中央、湖東平野のひらけた所に位置している。町の西北には、広大な琵琶湖がひかえており、豊かな水の恵みをうけ、古くから文化が発達してきた所で、京都に上る道筋として、重要な地点であったため、太古から近世に至るまでの歴史の縮図がみられる。〔文化・観光〕安土城跡、観音寺城跡、観音正寺、西の湖、近江風土記の丘

「錠の浜」はかつて百石船といわれる荷船が西の湖から琵琶湖をへて、大津へと行き来した港であった。しかしモーターゼーションの発達と生活様式の変化による生活雑排水の流入などで、ヘドロがたまり、悪臭の発生源となってしまう。このため、家庭からの汚水を分離排除するとともに、上流北川より湧き出る水を錠の浜へ導水し、石垣のそばにたたえられた水の中では鯉が泳ぎ、子供たちが遊べるようにと整備を行った。水辺との親水性を高め、水とともに生活する場をつくり出していこうとするものである。

